

政策評価調書(26年度実績)

政策名 恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおおいた作戦の推進～	政策コード I-5	関係部局名 生活環境部、商工労働部、農林水産部、土木建築部
---	--------------	----------------------------------

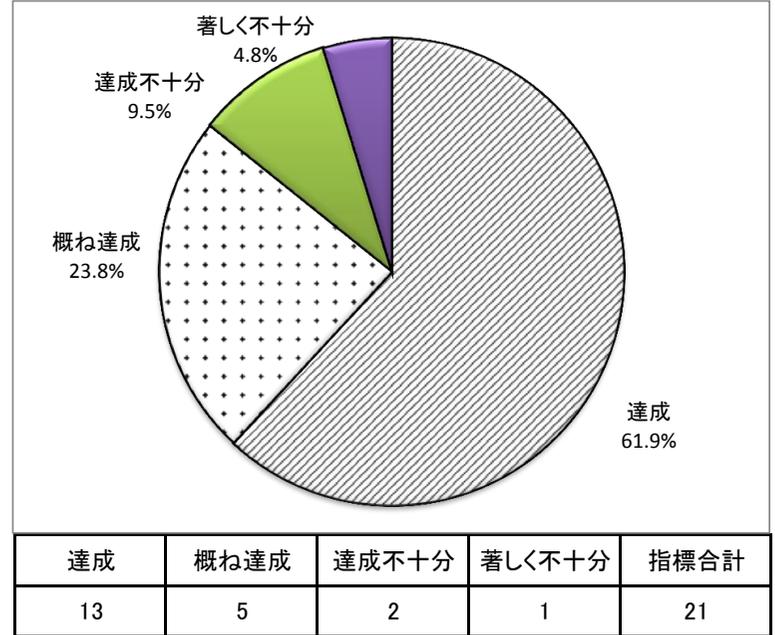
【Ⅰ. 政策の概要】

大分の恵み豊かな自然環境を守り、美しく快適な県土づくりにつながる環境保全の取り組みやリサイクル等の資源循環の取り組み、二酸化炭素の吸収源対策、環境教育の推進、県民総参加による「ごみゼロおおいた作戦」を進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	豊かな自然との共生と快適な地球環境の創造	達成	A
2	循環を基調とする地域社会の構築	達成	A
3	地球環境問題への取り組みの推進	概ね達成	B
4	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県は、緑豊かな山野、大地を潤す清らかな河川、変化に富んだ海岸線、学術的価値の高い貴重な地質遺産や農業遺産など全国に誇れる豊かな天然自然に恵まれている。これらの豊かな自然と共生し将来へ継承していくことが必要である。

姫島、豊後大野両ジオパークについて、持続可能な取組とするため、ジオパークの魅力を間断なく情報発信するとともに、学術基盤の強化や地質愛好家の受入体制の充実などを図ることが重要である。

水環境の一層の保全が求められている中、これまでの「ごみゼロおおいた作戦」の成果を継承し、関係団体が連携して設立した流域会議を中心として、河川の保全活動に取り組んでいるところである。併せて、生活排水対策として、合併処理浄化槽への転換を促進するとともに、事業場への啓発などにより排水対策を推進する必要がある。また、県内の海岸では、毎年、大量の海岸漂着物が発生しており、その回収・処理対策も重要である。

他方、大気環境においてはPM2.5などによる健康への影響が懸念されており、発生源対策が必要である。

県民総参加の取組であるごみゼロおおいた作戦を一層展開していくためには、地域の牽引役であるごみゼロ推進隊の活動支援や次代を担う人材の育成が必要となっている。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
二酸化炭素排出量(家庭・業務・運輸部門合計)	72.8%
<著しく不十分となった理由>	
家庭や事業所における節電・省エネに関する行動や意識の定着など、二酸化炭素排出抑制の取組は進んでいるが、原発の稼働停止に伴い火力発電の割合が増加したことにより、目標には達しなかった。	